

島根県：外国人材定着支援補助金を新設 (募集開始)

25.05.01

技能実習生・特定技能の職場定着を後押しする補助金。
就労環境整備やコミュニケーション促進等の取組を支援。
受付期間は25.05.01～25.11.28。
対象は県内中小企業等と監理団体(介護・看護除く)。
ソフト事業は1/2、ハード事業は1/3を補助。
上限は中小企業等50万円、監理団体20万円。
事業期間は交付決定日～25.12.30。
県の雇用政策や多文化共生の施策と連動。
申請様式・問い合わせ先を県サイトに掲載。



ミャンマー・ユニティ： 島根のビルクリーニングに実習生 2名が出国

送り出し機関が1月の出入国情報を公表。
1月7日、島根県のビルクリーニング業に配属予定の
技能実習生2名がミャンマーから出国と報告。
同ページで各県向けの出国情報を一覧化。
島根向け受入れの動きが具体例として確認できる。
他県でも介護・外食など複数職種で出国を掲載。
地域の人材需給と連動する動向把握に有用。
送り出し側の一次情報として採録。
企業・監理団体の受入準備の進捗を示す材料。

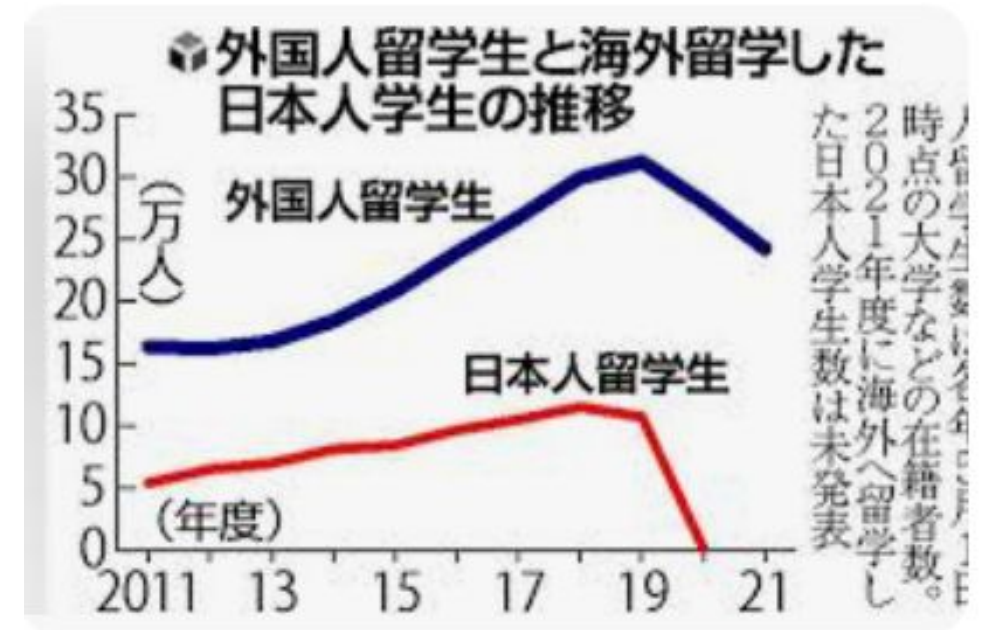


PR TIMES

【ビルクリーニング業界向け】ミャンマー人受け入れ...

島根県立大学：外国人留学生の人数 (25年5月1日現在)を公表

25年5月1日現在の留学生数をキャンパス横断で集計。
学部10、修士7、博士3、特別聴講生6、研究生3。
合計は29人で、出身国は中国が中心、台湾・韓国も在籍。
表形式で区分別人数を明示し、科目等履修生は0。
大学の受入れ状況を定点で把握できる資料。
地域の人材育成や企業との連携の基礎データとなる。
学内外の支援体制整備の参考情報。
PDFで公開され、恒常的に参照可能。
今後の増減のモニタリングにも有用。



読売新聞オンライン

留学生数、5年後にコロナ前水準の回...

<https://www.u-shimane.ac.jp/files/uploads/%E3%80%90%E5%85%AC%E9%96%8B%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%80%91%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E7%95%99%E5%AD%A6%E7%94%9F%E3%81%A5%E4%BA%BA%E6%05%B0%E4%B9%A6%E3%81%B3%E2>

島根県立東部高等技術校： 日本語でPC・ビジネスマナー訓練(募集)

外国籍の就職希望者向けに短期課程の公共職業訓練を案内。
募集期間は25.04.10～06.10、定員15名。
訓練期間は25.07.01～10.31、会場は出雲コアカレッジ。
PC操作、日本語、ビジネスマナー、就職支援を体系的に実施。
教材費など自己負担は約1.9万円、任意保険3,700円。
対象は在留資格の就労制限がない方等で日本語力を要件。
CS技能評価試験やJLPT受験の案内も併記。
応募・入校はハローワーク経由で手続き。
県の委託訓練として安定就労を支援。



📍 島根県

島根県：東部高等技術校（ト...

山陰中央新報: 島根、 外国人住民1万人突破(県調査)

県内の外国人住民数が初めて1万人を超えたと報道。
人手不足を背景に、企業で働く外国人の受入れが増加。
在留資格は技能実習・特定技能などが中心と伝える。
受入れ拡大に伴い、行政の支援体制整備も進展。
教育・暮らしの支援課題への対応が急務。
地域社会の共生へ、企業と自治体の連携が重要。
統計の根拠は県の調査結果。
県の補助金や相談窓口整備と相乗効果が見込まれる。
人口動態の変化を示す指標として位置付けられる。




山陰中央新報デジタル

島根、外国人住民1万人突破 労働者受け入れ...

美郷町：バリ島出身の技能実習生 4人に 修了証（山陰中央新報）

美郷町が交流するバリ島から受け入れた実習生の節目。
農業や介護分野で3年間の実習を修了。
町が『友好技能実習修了証』を授与したと報じた。
地域ぐるみの受入れと交流の継続性を示す。
修了後の進路や地域との関係深化にも言及。
自治体と住民の支援が育成成果につながった。
県内の外国人住民増とも呼応する動き。
実習を通じた人材育成と共生の具体例。
長期的な関係構築の好事例として記録。



 山陰中央新報デジタル

バリ島出身の実習生 4人に修了証 農業や介...

外国人が避難所研修 吉賀、症状の伝え方や設営学ぶ

2025.10.24

島根県吉賀町で暮らす外国人を災害時に支援するための研修がこのほど、同町六日市の町民六日市体育館であった。参加した外国人23人が、救急現場での症状の伝え方を実践方式で学んだほか、日本人7人と避難所の生活や設営方法を学んだ。同町に住む外国人は近年210人ほどで推移し、比率は1月時点で3・6%と、県内で最も高い。研修では、外国人住民がけがや不調の症状を正確に伝える訓練をした。音声翻訳アプリや通訳会社を通し、益田広域消防本部の職員に症状を説明した。



で消防職員に症状を伝える外国人住民（手前中央）＝島根県吉賀町六日市、町民六日市体育館

出典：<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/882665>

島根県、外国人住民が初の1万人突破！ 深刻な人手不足と外国人雇用の最前線

2025.11.07

島根県の主要産業は、製造業、建設業、農業、そして観光業が中心です。これらの産業は全国的に人手不足が深刻ですが、島根県では複数の要因が重なり、より厳しい状況にあります。具体的には、進学や就職に伴う若年層の県外流出が続き、労働力の中核となる世代が不足しています。また、全国平均を上回る高齢化率の高さが、労働力人口の減少に拍車をかけている状況です。さらに、山陰地方共通の事情として、都市部からの距離や交通アクセスの不便さも、人材確保の障壁となっています。このような状況下で、外国人雇用は島根県経済を支える重要な鍵となっています。製造業や建設業では、技能実習や特定技能の在留資格を持つ外国人が即戦力として活躍しています。



出典：<https://www.gaikokujin-press.com/archives/1923>